

大学における必要な科目		文教大学臨床心理学科における科目名	
I (注1)	1	心理学概論	心理学(共通教養)、心理学概論のいずれか
	2	臨床心理学概論	臨床心理学概論、臨床心理学総論のいずれか
	3	心理学研究法	臨床心理学研究法
	4	心理学統計法	基礎統計学、データ解析法Rのいずれか
	5	心理学実験	心理学実験
II (注2)	6	知覚・認知心理学	認知心理学R
	7	学習・言語心理学	学習心理学R
	8	感情・人格心理学	人格心理学R
	9	神経・生理心理学	生物学的心理学
	10	社会・集団・家族心理学	家族心理学R、社会心理学R、グループアプローチRのいずれか
	11	発達心理学	発達心理学R、発達臨床心理学のいずれか
	12	障害者・障害児心理学	該当なし
III (注3)	13	心理的アセスメント	臨床心理査定法
	14	心理学的支援法	精神分析、認知行動療法、家族療法、分析心理学、子どもの心理療法、芸術療法のいずれか
IV (注4)	15	健康・医療心理学	医療心理学、異常心理学のいずれか
	16	福祉心理学	老年期の臨床心理
	17	教育・学校心理学	教育心理学R、学校臨床心理学、学校カウンセリングRのいずれか
	18	司法・犯罪心理学	犯罪心理学
	19	産業・組織心理学	産業カウンセリングR
V (注5)	20	人体の構造と機能及び疾病	医学知識N
	21	精神疾患とその治療	精神医学 I N および 精神医学 II N の両方
	22	関係行政論	該当なし
III (注3)	23	心理演習	臨床心理面接・検査演習
	24	心理実習(80時間以上)	臨床心理実習

注1	I (1～5)については、3科目以上を修得していること。
注2	II (6～12)については、4科目以上を修得していること。
注3	III (13、14、23および24)については、2科目以上を修得していること。 ただし、24については、施設の分野及び時間数を問わない。
注4	IV (15～19)については、2科目以上を修得していること。ただし、15をV (20又は21)としてカウントした場合は、16から19までのうち2科目以上を修得していること。
注5	V (20又は21)については、1科目以上を修得していること。 なお、15を修得した場合は、20又は21を修得したものとみなす。

備考 1. ただし、科目名の最後にN、R、Sのつく科目に関してはいずれの区分でも可とする(例:医学知識N は 医学知識S でも可)

備考 2. 臨床心理学科の、2013年度カリキュラム改定以前の関連科目については、以下のとおり、旧科目名についても、読み替え対応可とする。

- (1) 臨床心理学研究法→(旧)心理学研究法
- (2) 心理学実験→(旧)心理学一般実験
- (3) 人格心理学→(旧)パーソナリティ論
- (4) 生物学的心理学→(旧)神経心理学、(旧)生理心理学のいずれか
- (5) 認知行動療法→(旧)行動療法
- (6) 医療心理学→(旧)医療カウンセリング
- (7) 犯罪心理学→(旧)非行と犯罪の心理
- (8) 臨床心理面接・検査演習→(旧)臨床心理面接・検査法、(旧)心理検査演習のいずれか
- (9) 臨床心理実習→(旧)臨床心理実験実習
- (10) (旧)感情心理学は、大学における必要な科目 II-8「感情・人格心理学」に読み替え可能。
- (11) (旧)産業心理学は、大学における必要な科目 IV-19「産業・組織心理学」に読み替え可能。